

もっと「同友会大田支部」を知ろう！ 参加しよう！

NEWS

おおた の同友

OTA
NO
DOYU

2024年度

大田支部 の春

大田支部からの
お知らせ

大田支部会員数は
184名
(期首179名)です。

広報委員会

広報委員会：島村亮
(株式会社ルミナス)
平林正樹(順天堂大学)
郷家由佳(アクアカンパニー)
広報委員長：針谷周作
(コトノハ株式会社)
発行：一般社団法人
東京中小企業家同友会大田支部

“世界で最も尊敬される日本人100”
※2005年 Newsweek誌(日本版)掲載

「人儲け」の精神で“無一文から億万長者”

自分の生き方を愛せる人になれ！

LINE公式アカウントにて
吉田潤喜のサクセスストーリーを公開中！
著書「人生、金儲けやない、人儲けや！」は
アカウント内で好評販売中です！



豪快で、繊細で、優しく、厳しい。
甘えん坊で、傷付きやすい癖に負けん気は世界一。
アメリカではイチローよりも有名な日本人、というのは本当で、
オレゴン州で彼を知らない人はいない。
苦勞人だから人の痛みもちゃんと判るから、辛い思いをしている人こそ
彼の話を聞いて欲しい。
きっと元気がやる気が湧いてくると思う。
大好きで素晴らしいおっさんだ！
さだまさし

LINE友だち
登録はこちら



吉田潤喜を描いた漫画や
過去に放送された番組も
閲覧できます

来たる4月25日、大田支部総会が開催されます。
記念講演には、アメリカのソース王・吉田会長が登場。
ぜひとも足をお運びください！

第43回支部総会開催！ アメリカのソース王が講演！

よしだ じゅんき
吉田 潤喜 ヨシダソース創業者 ヨシダグループ会長兼CEO

1949年12月7日、7人兄弟の末っ子として京都で生まれる。
空手八段。アメリカに憧れ、1969年1月24日に500ドルだけを持って単身渡米する。波乱万丈のア
メリカ生活をサバイブした末、自家製秘伝のタレをベースにしたヨシダソース(正式名称：ヨシダグル
メのたれ)を生産販売してアメリカンドリームの体現者となる。
米国の中小企業局(SBA)が50周年記念に選んだ全米24社の中に、FedExやインテル、AOL、
ヒューレットパッカードなどと並んで「殿堂入り」を果たす。2005年にNewsweek誌(日本版)
「世界で最も尊敬される日本人100」に選ばれ2010年7月にはアメリカと日本の友好に貢献したと
して「外務大臣賞」を受賞。
現在ヨシダグループの会長兼CEOとしてヨシダソースをはじめ、飲料水、レストラン経営、マンション
・リゾート開発事業を抱える傍らオレゴン州ビジネス開発局、地元の病院、コミュニティーカレッジな
どの理事を務める。

大田支部Instagramをフォローしよう！



おおたの同友 118号(2024年3月発行)

入会のご希望は、東京中小企業家同友会大田支部 ☎03-5829-8988

住所：千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル3階

金儲けではなく、「人儲け」の精神で
“無一文から億万長者”

世界で最も
尊敬される日本人100



「アメリカのソース王」

吉田潤喜氏

ヨシダグループ会長兼CEO

開催日: **4月25日** (木)

- 第1部 16:00~ 支部総会
総会議事審議、活動方針提案
濱口賞投票
- 第2部 17:45~ 記念講演会
来賓代表挨拶
総会記念講演
講師 吉田潤喜氏 ヨシダグループ会長兼CEO
- 第3部 19:45~ 懇親会、濱口賞受賞者発表
21:00 閉会

「人儲け」の精神で
“無一文から億万長者”
自分の生き方を
愛せる人になれ!

会場: 大田区産業プラザPio (4階コンベンションホール)

※記念講演会のみZOOMオンライン配信を行います。ただしZOOMオンライン申込締め切りは4月5日13時までとなります。

- 参加費: 16:00~支部総会 (無料)
- 17:45~記念講演会 (3000円) ※会員外:5000円
- 19:45~懇親会 (5000円) ※懇親会は東京同友会会員と来賓のみご参加可能です



講師
略歴

吉田 潤喜氏

ヨシダソース創業者 ヨシダグループ会長兼CEO

1949年12月7日、7人兄弟の末っ子として京都で生まれる。空手八段。アメリカに憧れ、1969年1月24日に500ドルだけを持って単身渡米する。波乱万丈のアメリカ生活をサバイブした末、自家製秘伝のタレをベースにしたヨシダソース(正式名称:ヨシダグルメのたれ)を生産販売してアメリカンドリームの実現者となる。

米国の中小企業局(SBA)が50周年記念に選んだ全米24社の中に、FedExやインテル、AOL、ヒューレットパッカードなどと並んで「殿堂入り」を果たす。2005年にNewsweek誌(日本版)「世界で最も尊敬される日本人100」に選ばれ2010年7月にはアメリカと日本の友好に貢献したとして「外務大臣賞」を受賞。

現在ヨシダグループの会長兼CEOとしてヨシダソースをはじめ、飲料水、レストラン経営、マンション・リゾート開発事業を抱える傍らオレゴン州ビジネス開発局、地元の病院、コミュニティカレッジなどの理事を務める。

豪快で、繊細で、優しく、厳しい。
甘えん坊で、傷付きやすい癖に負けん気は世界一。
アメリカではイチローよりも有名な日本人、
というのは本気で、
オレゴン州で彼を知らない人はいない。
苦勞人だから人の痛みもちゃんと判るから、
辛い思いをしている人こそ彼の話を聞いて欲しい。
きっと元気とやる気が湧いてくると思う。
大好きで素晴らしいおっさんだ!
さだまさし

またとない機会!
ぜひともご参加ください!

参加登録は
こちら→



生い立ち

私は、広島県の福山出身です。福山と言っても内陸部の方です。うちの親父は、農家の一人息子として生まれたのに農業があまり好きではなかった。「都会で一花咲かせたい」といった少々山っ気のある人として、15歳くらいで福山を出て長崎から東京・府中をまわって大森に流れ着き、そこでうちのお袋と出会ったようです。昭和19年に親父はお袋と結婚して大森に住んでいたんですけど、東京ではお産ができない状況になって、お袋は親父の実家である福山で私を含めて3人を産んだんです。親父は一足先に大森に帰ってきて、私は昭和26年、小学校1年の時に親父と大森に合流しました。福山でそのまま農業をやっているならば食べていたのに、「何か自分でやってみたい」という思いがあったのだと思います。

当初、親父はお袋含めて3~4人で進駐軍の車を修理するような仕事を請け負っていたようです。朝鮮戦争あたりまでは景気が良かったようですが、特需が終わると一気に仕事がなくなった。それから親父は、会社勤めを10年くらいしていました。手先が器用なのもあって、機械を修理するようなフライス加工の仕事をしていました。その後、昭和41年に井上製作所を立ち上げ、独立したんです。そのころの日本はオリンピックも終わってだんだんと豊かになりましてね。家庭でも狭い家に大きなステレオセットを購入するような時代になってきたんです。真ん中にレコードプレーヤーとアンプがあって、両側に大きなスピーカーがついているような。井上製作所では、アルミニウムのインゴットを温めて型に押し出

して向こう側で引っ張って作る「型材」という材料を使用して、その大きなスピーカー等の枠を機械加工で生産していました。

入社

そのころの私は高校を卒業して、プラプラといい加減な生き方をしていました。大森でウロウロしてるから、すぐ親にばれちゃうわけですよ。結構ヤンチャもしましてね、親にも迷惑をかけていた。親はそんな私を心配して、家業に誘ってくれたんです。よくつるんでいた私の仲間たちも食っていけないから就職してどんどんいなくなっちゃったし、いい年をして親の脛をかじるわけにもいなくなった。私も「そろそろ、もういいか…」なんて思っていた頃でした。

井上製作所は最初、親父と私と年下の親戚と3人でやっていますね。ただ単に「会社勤め」をするのとは違って、親父の手伝いだから「自分のところの仕事」という感じになるじゃないですか。そうすると、他所で働くよりは倍くらい頑張るんですよ。仕事ですから、まず「良い品物を納期通りに作る」ということをやる。すると、納期の問い合わせなどの電話が私に来るようになる。そんなことを繰り返すうちにだんだんと責任感も強くなる。仕事がうまくいけば売上も上がってくるから、自分のことのように嬉しくなる。この仕事にやりがいを感じるようになっていく。今、私がこうやって話をさせていただいてるのも、それが原点ですね。

ステレオの金属枠加工の仕事も最初のうちは良かったのですが、ステレオセットが家具調にモデルチェンジしたとたん、もう金属枠がいらなくなって仕事が止まっちゃった。それでもちょうどその頃、発

其の
11
井上忠道

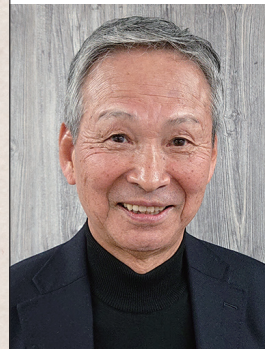


相談役

株式会社

井上製作所

社員を信じて、経営していく



井上忠道相談役近影

会社概要

Company Overview

半導体製造装置用治具工具をはじめとする精密機械加工、アルミ押出型材加工、プレス加工、板金加工などの金属加工一筋。創業は1966年(昭和41年)、設立は1977年(昭和52年)。従業員はおよそ30名。

<https://inoue-ss.co.jp/>



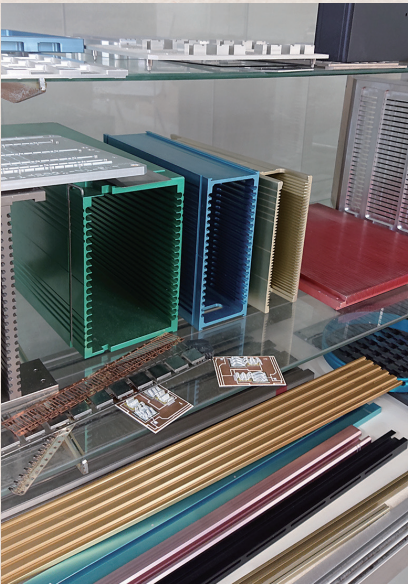
井上製作所本社工場全景

おおたの経営者列伝

Story of a Owner
in Ota-ward



工場内部の様子



製品の一部

注元である材料屋さんから「こういう加工をやってくれないか」と言われて、受けたんです。それが、当時の先端産業である半導体リードフレームの収納ボックスの生産でした。初めはなんだかよく分からなかったんですけど、後からテレビなんかでよく見かけけるようになって、「あ、そうなんだ」ってなものです。そこから仕事広がっていき、どんどん注文が来るようになりました。今の井上製作所を零細企業から小規模企業に格上げしてもらった大きな要因は、これですね。

社長に就任

忙しくて人手が足りなくなってきたんですが、3人の町工場ですから簡単には

人が来てくれないわけです。当時あった「アルバイトニュース」という雑誌に広告を出して、何とか人手を確保していました。創業から10年くらいたった頃、工場が手狭になったし、「騒音が公害だ」ということで、京浜島に移転することにしました。当時は革新系的美濃部都知事の頃でして、我々のような騒音を出す工場は悪者扱いでした。都議会の議員さんに工場に来ていただいて「こりゃうるせえな」ってことになり、そのタイミングで株式会社にしたり色々な書類を書かされたりしながら、運よく移転ができました。

当時は日本全体が高度成長期で、半導体もどんどん伸びていった時代。お陰様で、うちも忙しくて仕方なかった。そんな時に親父が病気で亡くなったんです。たしか、お通夜と葬式の時も仕事をやっていた記憶があります。38歳で社長に就任した時は「目の前の仕事をどうやっていくか」とは思いましたが、感慨に浸る間もなくただひたすら全力疾走していました。

ところが半導体業界には、およそ4年に1度の「シリコンサイクル」という大不況がやってくる。当時は従業員も15人くらいになっていたんですけど、突然「明日から注文はないよ」と言われるわけです。それまで休みも取れないくらいに残業に次ぐ残業だったのに、急に半年間くらい暇になってしまうのです。そのころのことはよく覚えていないのですが、半導体関連以外の仕事でどうにかこうにか凌いだのだと思います。何とかやり過ごしているとそのうちまた好景気がやってきて残業続きになり、不況になったらなんとか凌ぐという繰り返しでした。無借金経営だったのもあって、半導体不況の中でも「また景気が良くなるだろう」という思いは常に心の中にはありましたね。

同友会に入会

その後、京浜島から城南島に移転してすぐ、ある方から「井上さん、若い生徒さんが入社してくれるから」と薦められて、同友会の高校求人委員会に入りました。会社のパンフレットを持っているいろいろな高校の就職担当の先生とお会いしたんです。最初は半信半疑だった

のですが、丸1年くらいそんなことを続けていたら2人の高校生が入社してくれたんですよ。その次の年も3人が入ってくれた。うちのような規模の会社からしたら、それはもう夢のような話ですよ。

その他にも同友会では毎月の例会でいろいろ勉強させてもらいましたね。色々な経営者の話を聞くと大いに刺激も受けましたし、だいぶ真似もさせてもらいました。

経営者としてのやりがい

社長になった直後は会社を続けていくのが精一杯だったけど、同友会に入って落ち着いてきてからは「どうしたら社員を食わして行って、幸せにしてやるか」とずっと思っていました。その思いは高校生が入社してくれるようになってから、特に強くなりましたね。数ある会社の中からうちを選んでもくれたわけですから、できれば幸せになって欲しいですよ。単なる作業員、単なる労働者として見るのではなく、その人の人生を預かっているように感じるのです。「人として幸せになって欲しい」わけです。だから次代を生きる経営者の皆さんには、「社員を信じて経営していく」という言葉を贈りたいと思います。

そういえば、高校求人でも入社してくれた女性社員が2人いるんですけど、2人とも社内結婚しましてね。「世の中ってというのは、こういうものなんだな」って、つくづく感じましたよ。

後継者

うちの息子は、小さい時から「将来はうちを継ぐんだよ」と私のお袋から叩き込まれていたようで、そんなに抵抗はなかったようです。私も30年くらい社長をやっていましたが、様々なタイミングが重なってバトンタッチしました。

今でも、「どうしてるかな」「どうやってるかな」というのは、常に心配しています。それはどなたも同じだと思います。私は半導体と出会い、その時代の変化に何とかついていけたという意味では、結構良い運の持ち主だと思っています。我々は仕事を与えられて加工するものです。もちろん加工する方法は我々が選択できるし一生懸命に努力をするけれども、「こういうものを作ってよ」という出会いは、やはり運だと思うのです。(談)

新しく入った仲間たちです。
既存会員の方々は、
ぜひともフォローを
お願いいたします。

安部 瑞季氏

東京支社長

株式会社 アドバンスサービス

☎03-6411-7430

<https://www.advance1997.co.jp>

事業内容：清掃、ビルメンテナンス、消毒、植栽剪定、建物設備管理、警備、家事代行、フレグランス、ビルメンテ学校

大橋 一道氏

代表取締役社長

株式会社 OCL

☎03-3744-5351

<http://www.oc-labo.com>

事業内容：健康、医療機器開発販売

江田 通充氏

代表取締役CEO

株式会社 ターミナルバリュー

☎090-1551-4040

<https://terminalvalue.co.jp>

事業内容：事業戦略コンサルティング、採用支援、人材育成

前田 圭悟氏

代表取締役社長

Kaibaデザインノード株式会社

☎050-3577-9588

<https://www.kda-sdgr.com>

事業内容：建築設計、家具製作、プランニングを手掛けるデザインコンサルティングファーム

西村 隆太氏

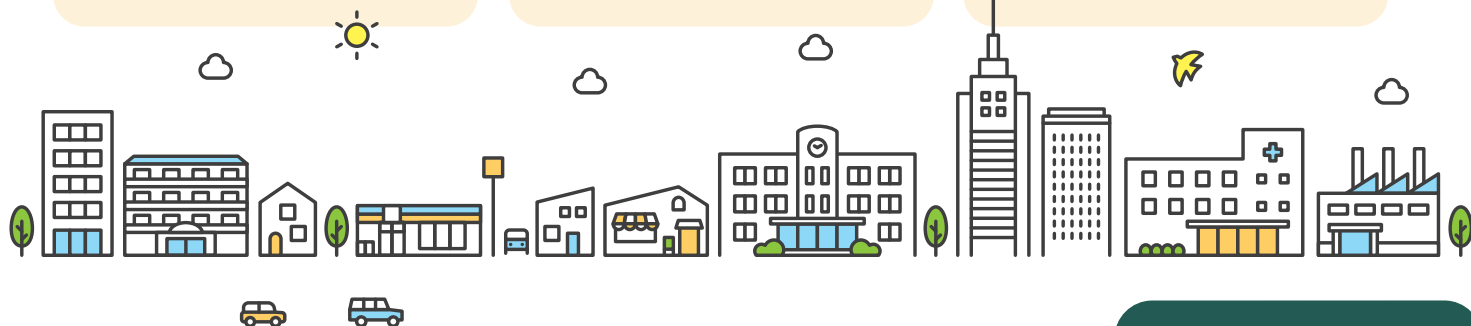
代表取締役社長

株式会社 ハーツアンドマインズ

☎03-5493-8211

<http://www.otonarisan.jp/index.html>

事業内容：地域雑誌、月刊おとなりさんや書籍、カレンダーの発行。まち歩きや講演の開催。



経営者が
おすすめする本

『西郷隆盛 命もいらす 名もいらす』 出版社:ワック

北康利：著



ソラーレ社会保険労務士法人
特定社会保険労務士

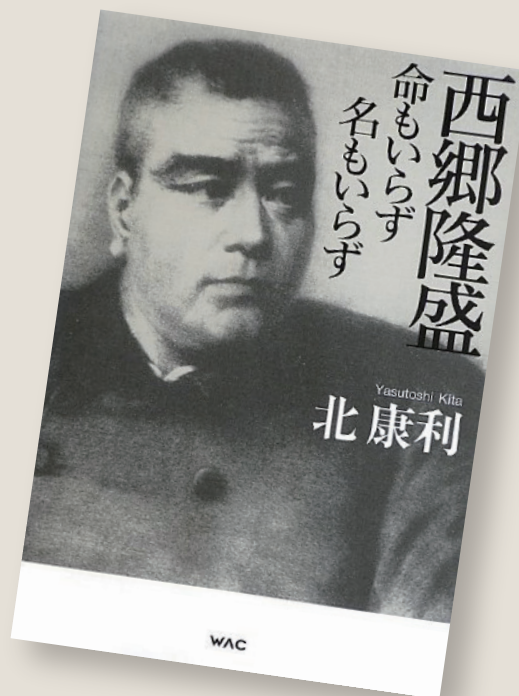
大谷雄二氏より Pass the baton

推薦者

株式会社日本デジタル通信
代表取締役

有倉将人氏

明治維新の立役者と言われている西郷隆盛という人は『無私の人』と言われていますがリーダーのあるべき姿の理想像なのかもしれません。さまざまな著者が西郷隆盛という人物を取り上げ、歴史小説として書かれていますが、本書は小説ではなく人物評伝として書かれているので小説には無いエピソードなども織り込まれており、西郷という人物を偏りなく知ることができるのではないのでしょうか。西郷どん好きにはたまらない一冊です。まさに激動とも言える今の時代に経営者のみならず政治家にもお勧めしたい一冊です。ちなみに、著者の北康利氏は人物評伝を多く書かれており、福沢諭吉・白洲次郎・松下幸之助・稲盛和夫と言ったそれぞれの時代において突出したリーダーシップを発揮された人物伝を書かれています。経営論やリーダーシップについての講師もされているので、講演もおススメです！



1月例会

「2024年の恵方を風水に学び運気をアップさせましょう」

講師：山田光復氏(株)ベストフォーチュン代表取締役

日時：1月25日18時～
場所：大田区産業プラザPiO

1月例会は「2024年の恵方を風水に学び運気をアップさせましょう」と題して山田光復先生をお招きしての講演会と懇親会を開催いたしました。2024年の開運スポットは浅草寺だとか。会員一同、目を輝かせながら山田先生の講演に耳を傾けていました。2024年の経営者としての姿勢を明らかにしていただき一同心を新たに新年の抱負を懇親会で語り合いました。



2月例会

一泊同友会

日時：2月3日・4日
場所：天成園 小田原駅別館

2月3日から4日まで、小田原駅直結の「天成園 小田原駅別館」で、一泊同友会が開催されました。今回の一泊同友会の目玉は、参加者全員が発表する5分間プレゼンコンテスト。自社紹介をはじめ、個性豊かな会員たちの発表に皆耳を傾け、刺激を与え合っていました。各部会・委員会等の発表のほか、次年度の運営についても話し合い、会議後は懇親会。楽しい1泊2日となりました。

参加者全員
5分間
プレゼンで
会場に活気が!



2月14日開催

リバーサイドブロック会

場所：しゃぶしゃぶ温野菜池上店

池上の温野菜にて開催されたリバーサイドブロック会は、新会員のKaibaデザインノード株式会社代表取締役である前田圭悟氏も参加し合計7名での開催となりました。毎月開催されている大田支部の下駄履き交流会は、ここ池上と大森(大森ブロック会)でも開催されています。美味しいしゃぶしゃぶを肴に、会話が弾みます。ぜひともお気軽にご参加ください。



同友会大田支部が主催するイベント情報は、

同友会大田支部ホームページ



https://ota-doyu.com

にアクセス